

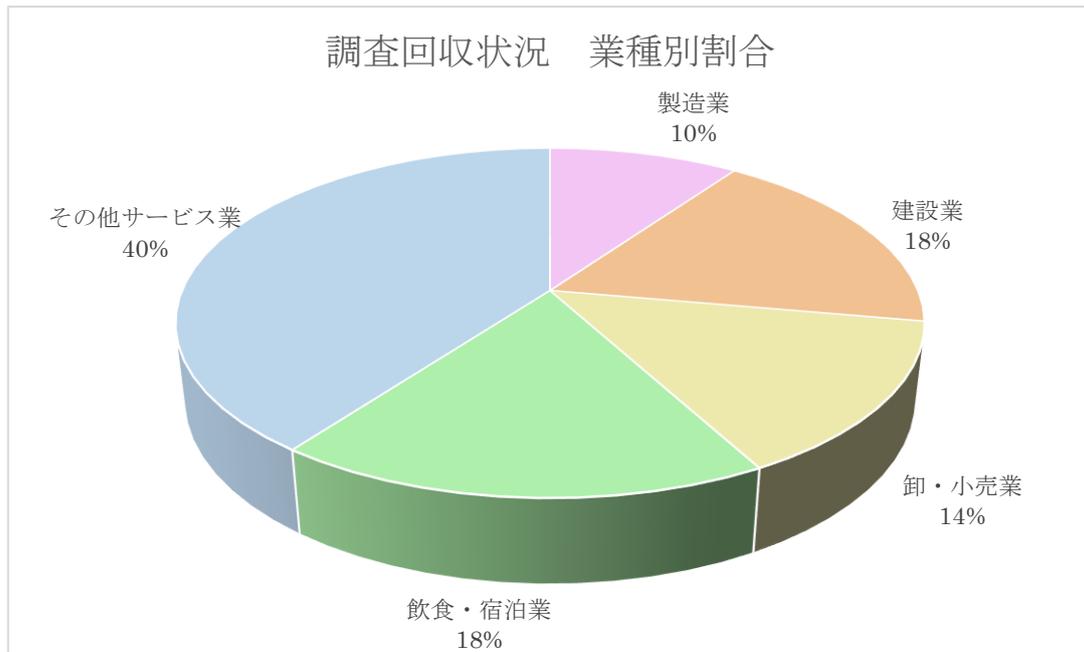
## 千歳市景気動向調査結果

調査期間：2023年10月～12月の実績と2024年1月～3月の見通しについて調査

調査方法：調査票を送付し、FAXまたはWEBにて回収

調査企業：千歳商工会議所会員（特別会員を除く）と特定商工業者約1,300社に依頼

回収状況：133社（約10.2%）



### DI（景気動向指数：ディフュージョン・インデックス）とは

増加・上昇・好転の企業割合から減少・降下・悪化の企業割合を差し引いた値のことです。

この数字がプラスかマイナスか、また、その大きさにより景気の動きを時期的な推移の中で把握します。

景気が「良い」の中には、「良いけど悪くなりつつある」などの考えも含まれるため、**業況判断DIは、景気の方角性を表すもの**です。

数値が上昇していれば、良い景況感（景気が良いと感じる企業の割合が増えたこと）を意味します。

本調査では前期（2023年7～9月）と比較した今期（2023年10～12月）の実績及び、今期（2023年10～12月）と比較した来期（2024年1～3月）の予測、今期（2023年10～12月）と前年同期の比較を掲載しています。

## 《 全体の景気動向 》

### 【主要DI調査】

主要DI	前期実績 (7～9月)		今期実績 (10～12月)【前年実績】		来期予測 (1～3月)
業況	3.3	↓	▲4.5 【▲9.0】	↓	▲9.8
売上	9.2	→	4.5 【4.2】	↓	▲10.5
採算	▲12.5	→	▲17.3 【▲30.6】	→	▲21.8
原材料	▲76.7	→	▲72.9 【▲84.0】	↑	▲60.9
資金繰り	▲3.3	↓	▲9.0 【▲9.0】	→	▲9.0
労働時間	3.3	→	0.0 【0.7】	→	0.8
雇用状況	27.5	↓	13.5 【28.5】	→	14.3

表中の矢印・・・5ポイント以上の推移を上下矢印(↑・↓)で表示  
5ポイント未満の推移は横ばい矢印(→)で表示

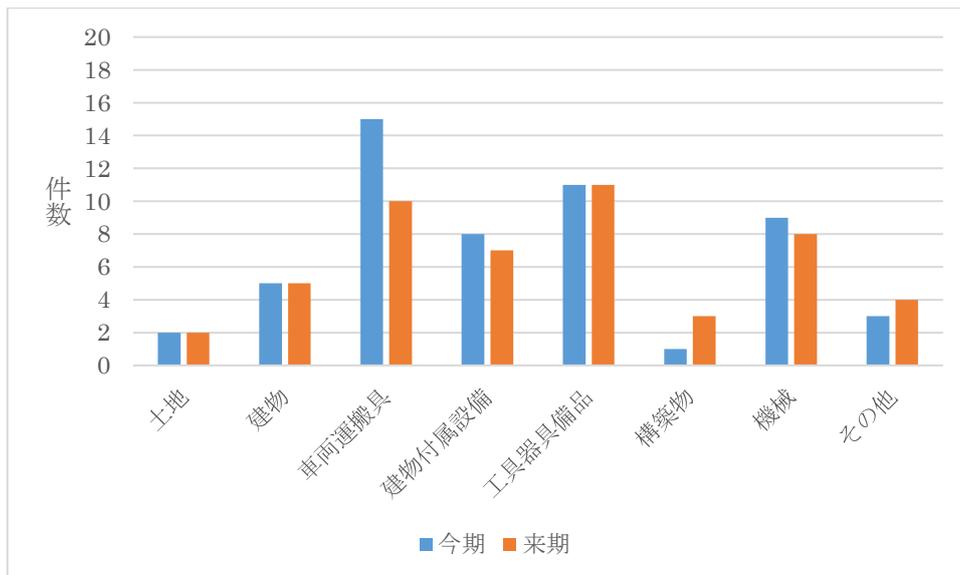
### 【設備投資調査】

前期(7～9月)設備投資をした企業は34.2%

今期(10～12月)設備投資をした企業は30.8%

来期(1～3月)設備投資を計画している企業は32.3%

設備投資をした(する)企業のうち投資内容は以下の通り。



## 《 製造業の景気動向 》

### 【主要DI調査】

主要DI	前期実績 (7～9月)		今期実績 (10～12月)【前年実績】		来期予測 (1～3月)
業況	37.5	↓	15.4 【▲18.2】	↓	0.0
売上	25.0	↑	30.8 【▲22.7】	↓	▲7.7
採算	6.3	↑	30.8 【▲45.5】	↓	▲15.4
原材料	▲81.3	→	▲76.9 【▲95.5】	↑	▲69.2
資金繰り	18.8	↓	7.7 【 13.6】	↓	0.0
労働時間	18.8	→	15.4 【▲9.1】	↓	0.0
雇用状況	18.8	→	23.1 【 45.5】	↓	15.4

表中の矢印・・・5ポイント以上の推移を上下矢印(↑・↓)で表示  
5ポイント未満の推移は横ばい矢印(→)で表示

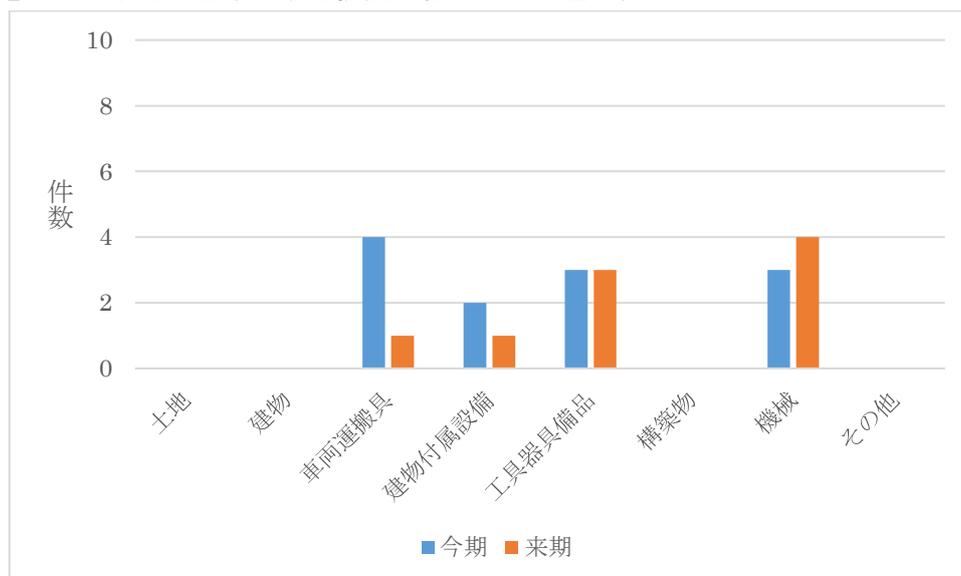
### 【設備投資調査】

前期(7～9月)設備投資をした企業は50.0%

今期(10～12月)設備投資をした企業は61.5%

来期(1～3月)設備投資を計画している企業は53.8%

設備投資をした(する)企業のうち投資内容は以下の通り。



## 《 建設業の景気動向 》

### 【主要DI調査】

主要DI	前期実績 (7～9月)		今期実績 (10～12月)【前年実績】		来期予測 (1～3月)
業況	▲4.8	↓	▲20.8 【▲21.7】	↑	▲12.5
売上	▲14.3	↑	0.0 【4.3】	→	0.0
採算	▲28.6	→	▲29.2 【▲39.1】	↑	▲12.5
原材料	▲81.0	→	▲79.2 【▲91.3】	↑	▲62.5
資金繰り	▲19.0	↑	▲4.2 【▲4.3】	→	0.0
労働時間	0.0	→	▲4.2 【▲4.3】	↑	12.5
雇用状況	57.1	↓	29.2 【34.8】	↓	20.8

表中の矢印・・・5ポイント以上の推移を上下矢印(↑・↓)で表示  
5ポイント未満の推移は横ばい矢印(→)で表示

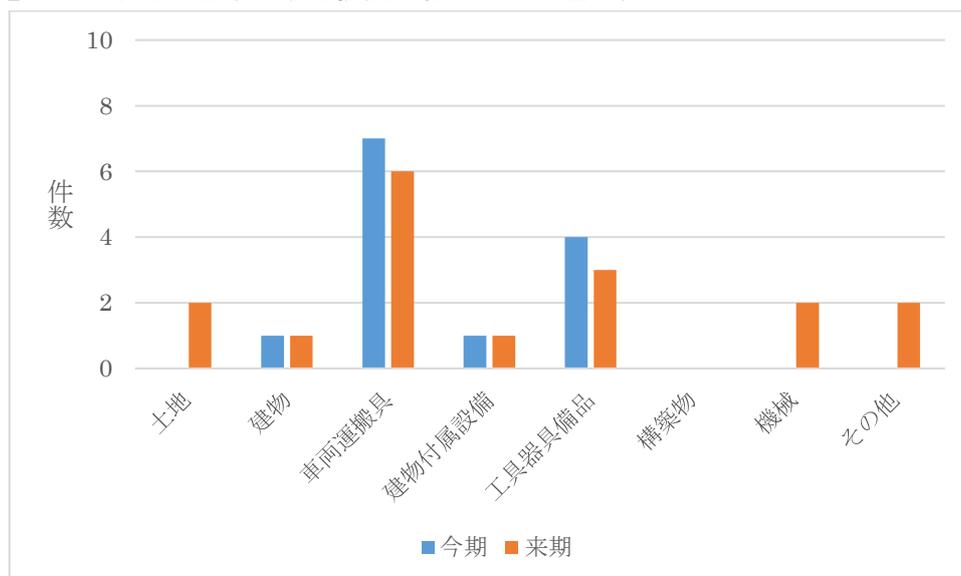
### 【設備投資調査】

前期(7～9月)設備投資をした企業は38.1%

今期(10～12月)設備投資をした企業は45.8%

来期(1～3月)設備投資を計画している企業は37.5%

設備投資をした(する)企業のうち投資内容は以下の通り。



## 《 卸・小売業の景気動向 》

### 【主要DI調査】

主要DI	前期実績 (7～9月)		今期実績 (10～12月)【前年実績】		来期予測 (1～3月)
業況	▲10.0	↑	10.5 【▲4.3】	↓	0.0
売上	▲5.0	↑	5.3 【21.7】	↓	0.0
採算	▲20.0	→	▲21.1 【▲30.4】	↑	▲10.5
原材料	▲75.0	↓	▲89.5 【▲87.0】	↑	▲73.7
資金繰り	▲5.0	↓	▲10.5 【▲17.4】	↑	▲5.3
労働時間	30.0	↓	10.5 【13.0】	↓	0.0
雇用状況	30.0	↓	10.5 【17.4】	↑	26.3

表中の矢印・・・5ポイント以上の推移を上下矢印(↑・↓)で表示  
5ポイント未満の推移は横ばい矢印(→)で表示

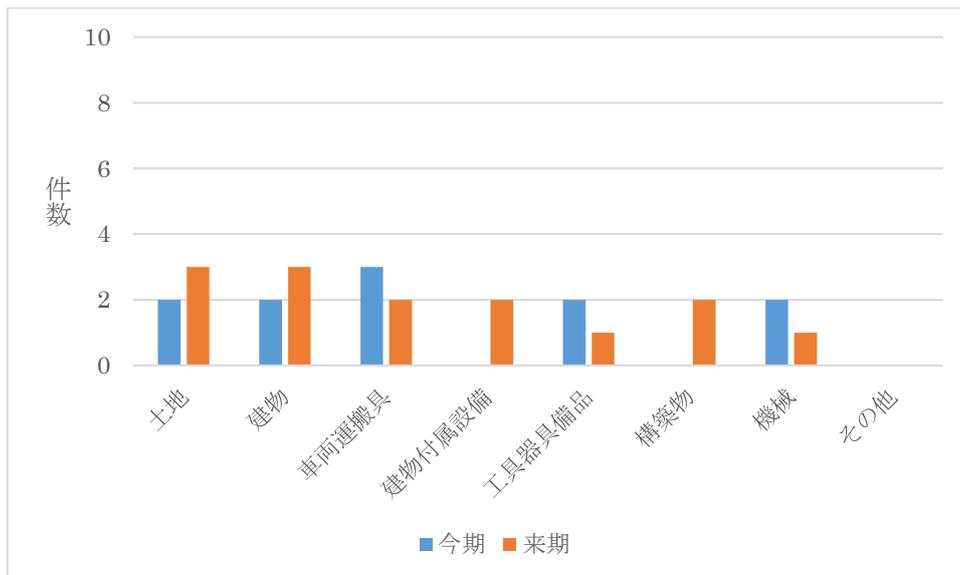
### 【設備投資調査】

前期(7～9月)設備投資をした企業は30.0%

今期(10～12月)設備投資をした企業は36.8%

来期(1～3月)設備投資を計画している企業は36.8%

設備投資をした(する)企業のうち投資内容は以下の通り。



## 《 飲食・宿泊業の景気動向 》

### 【主要DI調査】

主要DI	前期実績 (7～9月)		今期実績 (10～12月)【前年実績】		来期予測 (1～3月)
業況	4.3	→	8.3 【▲6.9】	↓	▲4.2
売上	21.7	→	20.8 【▲3.4】	↓	▲16.7
採算	▲21.7	→	▲20.8 【▲27.6】	↓	▲29.2
原材料	▲95.7	↑	▲87.5 【▲93.1】	↑	▲70.8
資金繰り	▲17.4	→	▲12.5 【▲10.3】	→	▲16.7
労働時間	▲8.7	↑	4.2 【▲6.9】	→	8.3
雇用状況	8.7	↑	16.7 【10.3】	→	16.7

表中の矢印・・・5ポイント以上の推移を上下矢印(↑・↓)で表示  
5ポイント未満の推移は横ばい矢印(→)で表示

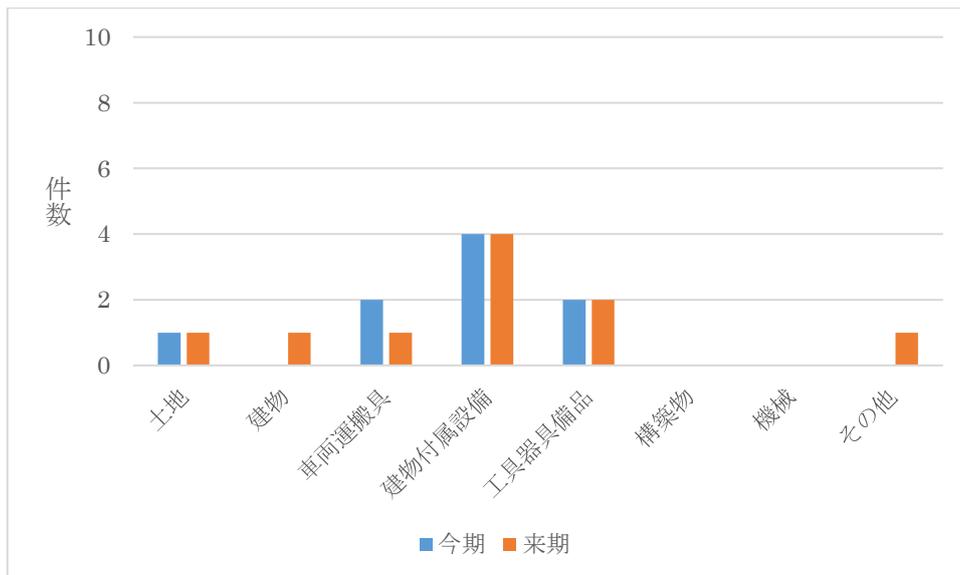
### 【設備投資調査】

前期(7～9月)設備投資をした企業は17.4%

今期(10～12月)設備投資をした企業は33.3%

来期(1～3月)設備投資を計画している企業は33.3%

設備投資をした(する)企業のうち投資内容は以下の通り。



## 《 その他サービス業の景気動向 》

運送・生活関連サービス・観光関連サービス・理美容・不動産・その他が含まれます

### 【主要DI調査】

主要DI	前期実績 (7～9月)		今期実績 (10～12月)【前年実績】		来期予測 (1～3月)
業況	0.0	↓	▲13.2 【▲2.1】	→	▲17.0
売上	15.0	↓	▲7.5 【12.8】	↓	▲17.0
採算	▲2.5	↓	▲20.8 【▲21.3】	↓	▲28.3
原材料	▲62.5	↑	▲56.6 【▲68.1】	↑	▲49.1
資金繰り	5.0	↓	▲13.2 【▲17.0】	→	▲13.2
労働時間	▲7.5	→	▲7.5 【6.4】	→	▲7.5
雇用状況	25.0	↓	3.8 【34.0】	→	5.7

表中の矢印・・・5ポイント以上の推移を上下矢印(↑・↓)で表示  
5ポイント未満の推移は横ばい矢印(→)で表示

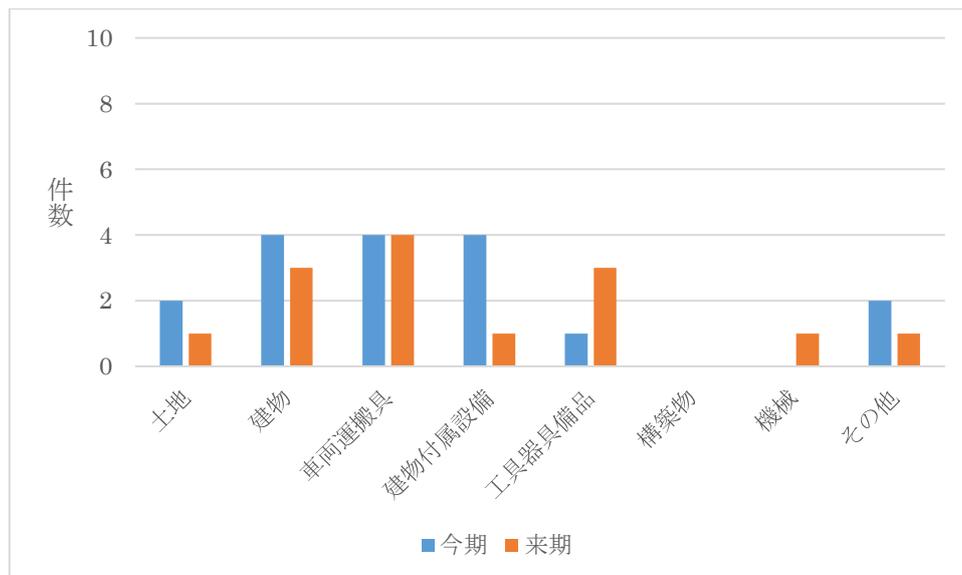
### 【設備投資調査】

前期(7～9月)設備投資をした企業は37.5%

今期(10～12月)設備投資をした企業は26.4%

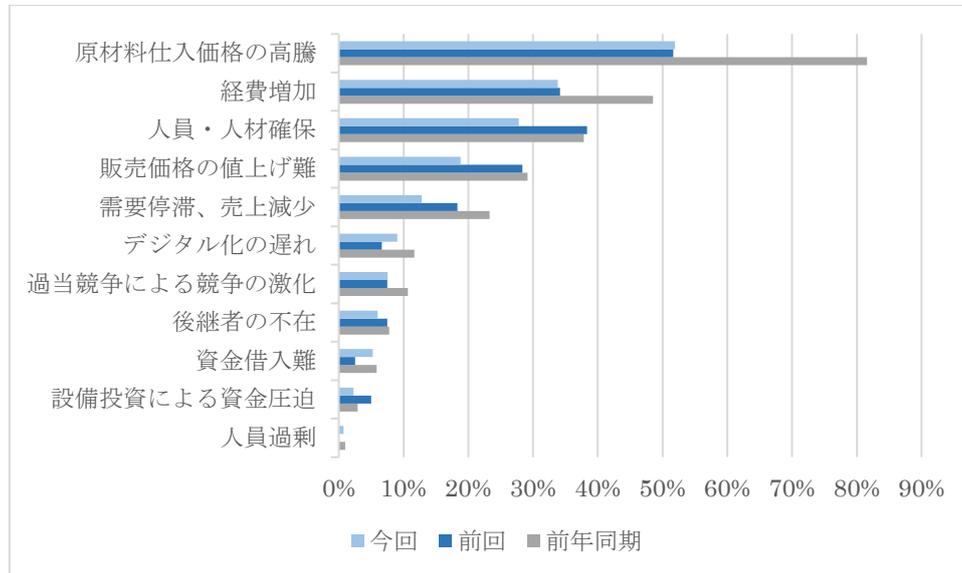
来期(1～3月)設備投資を計画している企業は20.8%

設備投資をした(する)企業のうち投資内容は以下の通り。



## 《 全体の経営上の問題点 》

今回の調査でも、経営上直面している問題点が多かったのは、前回に引き続き『原材料仕入価格の高騰（51.9%）』、次に『経費増加（33.8%）』、『人員・人材確保（27.8%）』が多い結果となりました。



## 《 業種別の経営上の問題点 》

	製造業	建設業	卸・小売業	飲食・宿泊業	サービス業
1位	原材料仕入価格高騰	原材料仕入価格高騰	原材料仕入価格高騰	原材料仕入価格高騰	原材料仕入価格高騰
2位	人員・人材確保	人員・人材確保	経費増加	経費増加	経費増加
3位	販売価格値上げ難	経費増加	販売価格の値上げ難 人員・人材確保	販売価格の値上げ難	人員・人材確保

## 《 観光関連の景況 》

観光に直接的に関わる業種及び企業を抜粋し調査しました。

対象事業者

市内の宿泊業、市内の観光関連業、市内の運送業、清水町・幸町周辺の飲食業、  
新千歳空港及び周辺の観光関連事業者、支笏湖・モーラップ地区の事業者

景気動向

主要DI	前期実績 (7～9月)		今期実績 (10～12月)【前年実績】		来期予測 (1～3月)
業況	4.0	→	8.3 【0.0】	↓	▲4.2
売上	28.0	↓	4.2 【18.2】	↓	▲20.8
採算	▲12.0	↓	▲25.0 【▲15.2】	↓	▲37.5
原材料	▲92.0	↑	▲87.5 【▲90.9】	↑	▲70.8
資金繰り	▲20.0	↑	▲8.3 【▲12.1】	↓	▲16.7
労働時間	▲8.0	↓	▲16.7 【6.1】	→	▲12.5
雇用状況	▲12.0	→	▲16.7 【▲30.3】	→	▲16.7

表中の矢印 . . . . . 5ポイント以上の推移を上下矢印（↑・↓）で表示  
5ポイント未満の推移は横ばい矢印（→）で表示

## 《 企業の声 》

今回の調査では全ての業種において、原材料仕入価格高騰が最大の問題点となっています。また、前回に引き続き、人員・人材不足が課題であるという声も多く、「最低賃金の上昇に、従業員のスキルアップが比例しない」「募集をかけても応募が少なく、人選することが出来ない」「賃金の引き上げが続くが企業の扶養手当限度額は据え置かれているため、主婦層の労働時間が減少している」などの意見がありました。

コロナの影響は緩和されてきていますがインフルエンザの流行により、サービス・接客を伴う業種では集客が難しいことや、顧客からの感染により休業せざるを得ない状況であるなど、未だ感染症やインフルエンザ等の影響で厳しい状況は続いています。

インボイス制度では、取引先のインボイス登録の有無を事前に把握しなければならないことや、経理の業務量増加が負担となっているとの意見がありました。

商工会議所に対しては補助金や助成金に関する情報提供、人材確保・人材育成に関する支援を求める声がありました。

令和6年度、千歳商工会議所では人材確保対策として会員企業の求人広告作成や企業説明会、外国人留学生集団採用面談の開催を予定しています。また、補助金、助成金の情報についてはHPやLINE等で情報を提供していきます。

また Rapidus 株式会社及び鹿島建設株式会社への会員情報の提供窓口を設置しておりますので取引希望の際は当所 HP からエントリーください。

本調査にご協力いただきました企業の皆様、ありがとうございました。

次回調査は令和6年4月頃です。引き続きご協力の程よろしく願いいたします。